

第6回 宮城・山形未来創造フォーラム

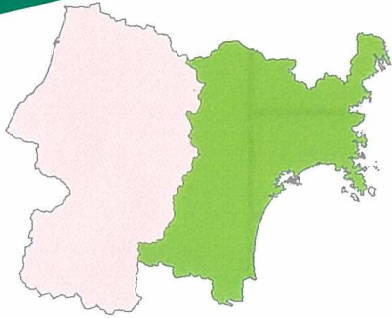
日時 11月19日(月) 13:30から (受付12:30~)

場所 ホテル法華クラブ仙台 <1階 ハーモニーホール> 仙台市青葉区本町2-11-30
TEL: 022-224-3121

テーマ: 東日本大震災からの復興における
宮城・山形の連携

東日本大震災により一層重要視された宮城・山形両県の連携の重要性を再確認し、復興を更に加速していくための両県の連携のあり方を考えます。

定員200名
先着順
入場無料



宮城・山形両県は、それぞれの有する地域資源やポテンシャルを磨き合い、相互に補完・共有化し圏域の発展を図るため、民間と行政が協働し、県境を超えた連携の取組みを進めているところです。

宮城・山形両県地域の将来像について認識を共有し、官民を通じた連携の更なる拡大・深化につなげていくフォーラムです。

<主催>

宮城・山形未来創造会議

(構成)

宮城県・山形県
仙台市・山形市
宮城県商工会議所連合会
山形県商工会議所連合会
社団法人東北経済連合会

プログラム (13:30~16:00)

■ 基調講演

「石巻医療圏における東日本大震災への対応」

講師 東北大学病院 総合地域医療教育支援部教授
石巻赤十字病院 病院長特別補佐

石井 正 氏

■ 実践事例発表

「311 から生まれた新しい“結”のかたち

～スマイルエンジン山形の実践～

発表者 スマイルエンジン山形

(山形大学地域教育文化学部研究生)

熊谷 周三 氏

震災直後から隣県の山形で始まったこの被災地支援は、学生だけではなく、一般社会人も一緒に創り上げる市民活動として発展してきました。東北に生まれた新しい支援のかたちは、かつての“結”を生み出した東北の文化に根ざし現代に継承されたものと言えます。この新しい芽を育み繋げていくための活動は今も続いています。

「仙山交流事業を通じた復興への取組み」

発表者 宮城県仙台地方振興事務所

地方振興部 主事 伊藤 雅典 氏

「認め合い、競い合い、協力し合うツインシティー」及び「東日本大震災からの復興と更なる発展」を目指して、仙山交流による様々な事業を行っています。

<講師紹介>

1963年東京都生まれ。1989年東北大学医学部卒業。同大先進外科を経て、2002年より石巻赤十字病院第一外科部長、2007年より同病院医療社会事業部長。2012年10月より現職。2011年2月、宮城県から災害医療コーディネーターを委嘱された直後に東日本大震災が発生し、災害医療の frontline 基地となった石巻赤十字病院で重責を担った。近著に『東日本大震災 石巻災害医療の全記録』(講談社ブルーバックス、2012)がある。



■ 募集期間

平成24年11月12日(月)まで (ただし、定員になり次第締め切ります)

■ 申込方法

裏面の申込書にて 宮城県震災復興政策課 または 山形県企画調整課 へお申し込みください。

第6回宮城・山形未来創造フォーラム 参加申込書

本申込書に必要事項をご記入の上、宮城県震災復興政策課または山形県企画調整課に郵送、FAX、電子メールのいずれかにてお申し込みください。

FAXの際、送付書は不要です。

電子メールの際は、下記項目をメール本文に明記していただいても構いません。

※参加票は発行いたしません。お申し込みの上、当日ご来場ください。

※ご記入いただいた個人情報は、本フォーラム以外の目的では一切利用いたしません。

お申し込み締め切り：平成24年11月12日（月）

所 属 (貴社・団体名等)	
お電話番号	
お役職 ご氏名	
お役職 ご氏名	
お役職 ご氏名	
お役職 ご氏名	

<<お問い合わせ・お申し込み先>>

■宮城県 震災復興政策課

郵便番号：980-8570

住 所：仙台市青葉区本町3-8-1

電話番号：022-211-2409

FAX番号：022-211-2493

電子メール：seisakub@pref.miyagi.jp

■山形県 企画調整課

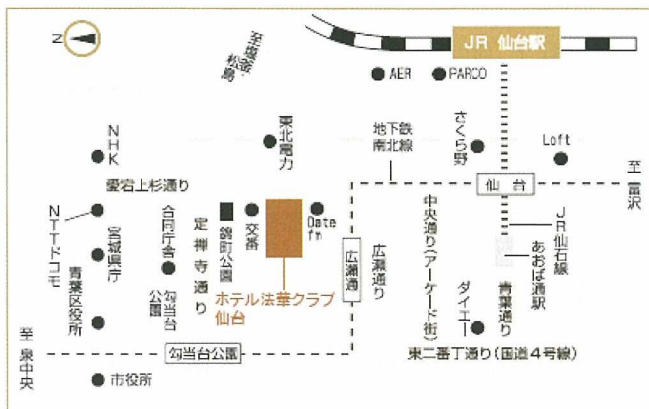
郵便番号：990-8570

住 所：山形市松波2-8-1

電話番号：023-630-2896

FAX番号：023-624-2775

電子メール：ykikaku@pref.yamagata.jp



※ 駐車場(有料)に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。